

## クマ被害にご注意ください

### 自分の存在をアピールしてクマに出会わない

- ▷クマが頻繁に出没している場所にはむやみに近づかない。
- ▷鈴やラジオなど音の出るものを携帯し、クマに自分の存在を知らせる。
- ▷クマの活動が活発になる早朝や夕方、霧の深い日の作業時は周囲に気をつける。
- ▷山菜採りに夢中にならない。
- ▷森林に近い農地で作業をする場合は、刈払いなどで周辺の見とおしをよくする。
- ▷頻繁にクマが出没している地域では、できるだけ単独での作業は避ける。
- ▷フンや足跡、食べ跡を見つけたら、近くにクマがいる可能性があるのですぐ引き返す。

### 誘引物の確認をしてクマを寄せつけない

- ▷生ゴミや農作物の廃棄残渣をそのまま放置しない。
- ▷ガソリンなどの揮発性物質もクマを誘引するものとなるので、保管場所に注意する。

### もしもクマに遭遇したら落ち着いて離れよう

- ▷遠くにクマを見つけたら、静かにその場を立ち去る。
- ▷クマが近づいてきたら、クマの動きに注意しながらゆっくりと後退する。
- ▷走って逃げる、大声、石投げなどクマを刺激する行動はしない。
- ▷子グマであっても近づかない。
- ▷襲ってきた場合は、両手で顔や頭を防御する。

今年各地で例年以上のクマによる人身被害が相次いで発生してします。市内での目撃情報も8月末現在で6件と多いので、クマとの不意の遭遇に十分注意してください。

市では人身被害防止のため、目撃情報のあった当該地域周辺において看板、防災放送、広報車などにより注意喚起広報およびパトロールを実施しています。目撃・出没情報は市ホームページに掲載し、随時更新しています。

また、有害鳥獣捕獲許可（ツキノワグマ）により、五所川原市鳥獣被害対策実施隊では、銃器を使用した被害防止対応も実施しています。

### クマの目撃または被害があった場合の連絡先

#### 五所川原警察署

五所川原地区 Tel0173-35-2141

市農林水産課 内線 2512

金木市浦地区 Tel0173-53-2117

### 稲わらの有効利用にご協力を きれいな空でおいしいお米

稲刈りの時期は、放射冷却等の影響で上空では対流が発生せず、大気が安定し汚染物質が拡散しにくいいため、この時期に行われる稲わら・もみ殻の野焼きにより発生するばい煙は、周辺の生活環境に多大な影響を及ぼすこととなります。

目や喉の痛み、頭痛、ぜんそく等の健康被害、前方や信号機等が見えない視界不良等の交通障害、洗濯物が干せない、換気ができない等の生活環境被害のほか、農業者や農産物に対するマイナスイメージとなることや、企業活動や当市の観光への悪影響が懸念されます。

このため、県では「青森県稲わらの有効利用の促進および焼却防止に関する条例」を制定し、農業者は稲わらを有効に利用し、焼却などの処分を行わないよう努めることとしています。

農業者の皆さんは、稲わら・もみ殻の有効利用に努め、野焼きを行わないようご協力をお願いします。

問 農林水産課 内線 2522

### 3つの「きる」で生ごみを減らそう

家庭から出る可燃ごみの約半分が生ごみです。わたしたち一人ひとりが今日からできる、生ごみを減らす3つの「きる」にご協力ください。

#### 食材は使いきる

- ▷ふだんから家族が食べられる適量を知り、買いすぎない。
- ▷買い物前に冷蔵庫の中身などをチェックし、残っているもの、残りそうなものは買うのを控える。
- ▷買い物前にメニューを考え、不要な買い物を控える。
- ▷野菜などを切るときに、食べられる部分を捨てない。

#### 料理は食べきる

- ▷家族の予定や人数に合わせて作りすぎない。
- ▷残った料理に少しアレンジを加えて違う料理にしたり、リメイクする。
- ▷どうしても食べきれないときは、近所におすそ分けしたり、冷蔵・冷凍する。

#### 生ごみは水気をきる

- ▷三角コーナーや水きりネットなどを使って、生ごみの水気を切る。
- ▷野菜くずや果物の皮は、ザルや新聞紙に載せ風通しのいいところに置いて乾燥させてからごみに出す。

問 環境対策課 内線 2457